経営比較分析表（令和5年度決算）

山形県地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構　日本海総合病院（法人内診療所含む）

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※1**	**指定病院の状況　※2**
直営	27	対象	透Ｉ未訓ガ	救臨が感へ災地
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
－	55,912	非該当	非該当	7 ： 1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
626	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	4	630
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
609	－	609

※1　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

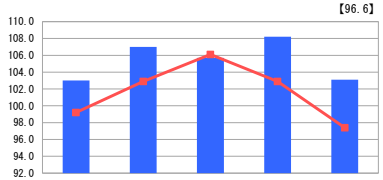
※2　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

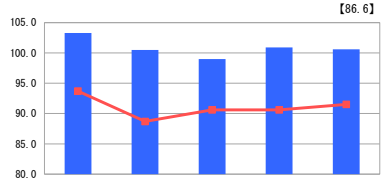
【96.6】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	103.0	107.0	105.7	108.2	103.1
平均値	99.2	102.9	106.1	102.9	97.4

②医業収支比率(%)

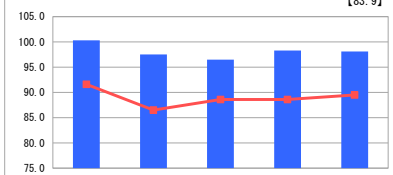
【86.6】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	103.3	100.5	99.0	100.9	100.6
平均値	93.7	88.7	90.6	90.6	91.5

③修正医業収支比率(%)

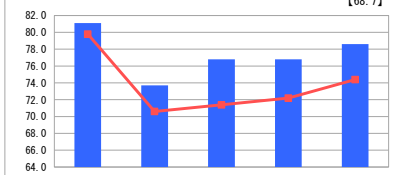
【83.9】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	100.3	97.5	96.5	98.3	98.1
平均値	91.6	86.5	88.6	88.6	89.5

④病床利用率(%)

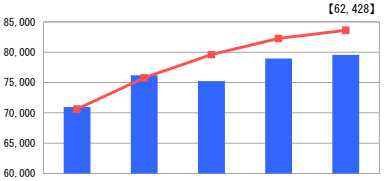
【68.7】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	81.1	73.7	76.8	76.8	78.6
平均値	79.8	70.6	71.4	72.2	74.4

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

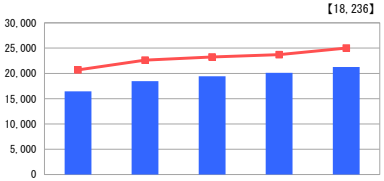
【62,428】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	70,955	76,194	75,242	78,951	79,558
平均値	70,630	75,766	79,610	82,275	83,606

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

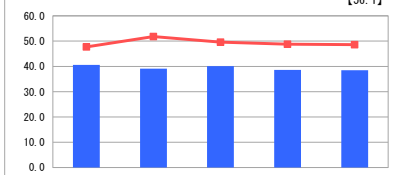
【18,236】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	16,453	18,451	19,416	20,104	21,268
平均値	20,687	22,637	23,244	23,704	25,007

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

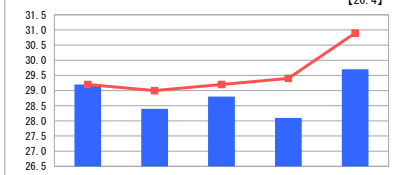
【56.1】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	40.6	39.1	40.1	38.6	38.5
平均値	47.7	51.8	49.6	48.8	48.6

⑧材料費対医業収益比率(%)

【26.4】

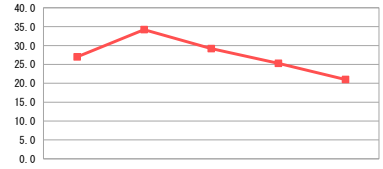


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	29.2	28.4	28.8	28.1	29.7
平均値	29.2	29.0	29.2	29.4	30.9

2. 老朽化の状況

⑨累積欠損金比率(%)

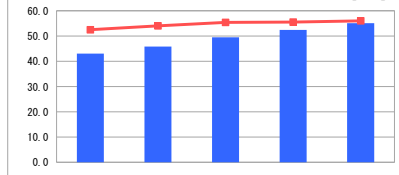
【54.5】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	27.0	34.2	29.2	25.3	21.0

①有形固定資産減価償却率(%)

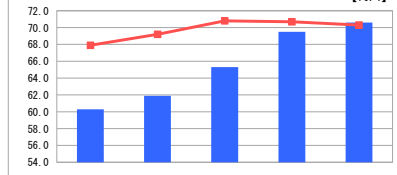
【57.0】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	43.0	45.8	49.5	52.4	55.1
平均値	52.5	54.0	55.4	55.5	56.0

②器械備品減価償却率(%)

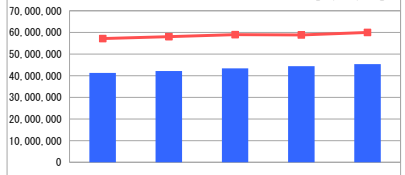
【70.4】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	60.3	61.9	65.3	69.5	70.6
平均値	67.9	69.2	70.8	70.7	70.3

③１床当たり有形固定資産(円)

【50,999,060】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	41,302,041	42,126,490	43,405,375	44,380,198	45,349,937
平均値	57,155,394	58,042,153	58,985,932	58,800,982	59,984,927

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係るまな取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成29　年度	平成20　年度	－　年度

Ⅰ　地域において担っている役割

日本海総合病院は庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実等、急性期医療及び高度専門医療を提供する役割を担っています。

また、平成30年度から酒田市より移管統合された日本海八幡クリニック等６つの診療所の効率的かつ効果的な業務運営を担っています。

さらには、地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担っています。

Ⅱ　分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①及び②は、中期計画の目標値「100%以上」を維持しています。

③は、入院、外来ともに患者数、診療単価ともに増加した一方で、費用が材料費を中心にそれ以上に増加したため、比率は減少しました。

④は、患者数の増加に伴い利用率は増加したものの新型コロナの流行以前の水準までには回復しておりません。

⑤及び⑥は、入院、外来ともに増加しましたが、類似病院の平均を下回っている状況が続いています。

⑦は、給与費が増加しましたが、医業収益がそれ以上に増加したため、比率は低下しました。

⑧は、医業収益は増加しましたが、材料費がそれ以上に増加したため、比率は増加しました。

2. 老朽化の状況について

①は、建物の増築工事完了から10年以上が経過し、類似病院の平均に近づいてきました。

②器械備品減価償却率は、直近でも医療機器の整備は行っているものの、過去に大規模な費用を要して整備した医療機器の償却が進んだため比率が増加し、類似病院の平均と同等の値になりました。

③は、引き続き類似病院の平均に比べて低い水準です。

全体総括

令和５年度は、「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構第４期中期計画」の最終年に当たり、中期計画において取り組んでいくこととされていた事業計画及び財務計画の目標を着実に実施することができ、法人全体として地独移行後16年連続での黒字を達成しました。

日本海総合病院、酒田リハビリテーション病院及び診療所においては、今後さらに、連携と機能分化を図りながら、それぞれの医療機関としての役割を遂行してまいります。